

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2015年9月6日聖日礼拝

---

使徒の働き連講62

「エルサレムで歓迎されたパウロ」

使徒の働き21章15節-30節

竿代照夫牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### 使徒の働き 21章 15節 - 30節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています。

第二版の聖書はp249 ~ / 第三版の聖書はp272 ~

- 15 こうして数日たつと、私たちは旅仕度をして、エルサレムに上った。
- 16 カイザリヤの弟子たちも幾人か私たちと同行して、古くからの弟子であるキプロス人マナソンのところに案内してくれた。私たちはそこに泊まることになっていたのである。
- 17 エルサレムに着くと、兄弟たちは喜んで私たちを迎えてくれた。
- 18 次の日、パウロは私たちを連れて、ヤコブを訪問した。そこには長老たちがみな集まっていた。

19 彼らにあいさつしてから、パウロは彼の奉仕を通して神が異邦人の間でなされたことを、一つ一つ話した。

20 彼らはそれを聞いて神をほめたたえ、パウロにこう言った。「兄弟よ。ご承知のように、ユダヤ人の中で信仰に入っている者は幾万となくありますが、みな律法に熱心な人たちです。

21 ところで、彼らが聞かされていることは、あなたは異邦人の中にいるすべてのユダヤ人に、子どもに割礼を施すな、慣習に従って歩むな、と言って、モーセにそむくように教えているということなのです。

22 それで、どうでしょうか。あなたが来たことは、必ず彼らの耳に入るでしょう。

23 ですから、私たちの言うとおりにしてください。私たちの中に誓願を立てている者が四人います。

24 この人たちを連れて、あなたも彼らといっしょに身を清め、彼らが頭をそる費用を出してやりなさい。そうすれば、あなたについて聞かされていることは根も葉もないことで、あなたも律法を守って正しく歩んでいることが、みんなにわかるでしょう。

25 信仰に入った異邦人に関しては、偶像の神に供えた肉と、血と、絞め殺した物と、不品行とを避けるべきであると決定しましたので、私たちはすでに手紙を書きました。」

26 そこで、パウロはその人たちを引き連れ、翌日、ともに身を清めて宮に入り、清めの期間が終わって、ひとりひとりのために供え物をささげる日時を告げた。

27 ところが、その七日がほとんど終わろうとしていたころ、アジヤから来たユダヤ人たちは、パウロが宮にいるのを見ると、全群衆をあおりたて、彼に手をかけて、

28 こう叫んだ。「イスラエルの人々。手を貸してください。この男は、この民と、律法と、この場所に逆らうことを、至る所ですべての人に教えている者です。そのうえ、ギリシヤ人を宮の中に連れ込んで、この神聖な場所をけがしています。」

29 彼らは前にエペソ人トロピモが町でパウロといっしょにいるのを見かけたので、パウロが彼を宮に連れ込んだのだと思ったのである。

30 そこで町中が大騒ぎになり、人々は殺到してパウロを捕らえ、宮の外へ引きずり出した。そして、ただちに宮の門が閉じられた。

# 説教

使徒の働き連講 6 2

「エルサレムで歓迎されたパウロ」

使徒の働き 21 章 15 節 - 30 節

竿代照夫師





## 主テキスト

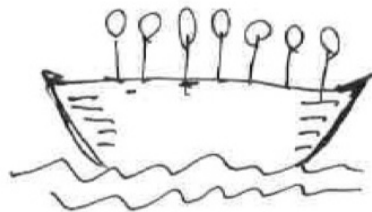
「エルサレムに着くと、兄弟たちは喜んで  
私たちを迎えてくれた。」

(使徒の働き 21:17)

## A . エルサレムへの旅(15 - 16節)(地図参照)

- ・パウロ第三回伝道旅行の締め括りは、心暖まる  
出会いの旅(地図参照)
- ・エルサレムでは、キプロス人マナソン家に宿泊

キプロス



フェニキヤ



● ツロ

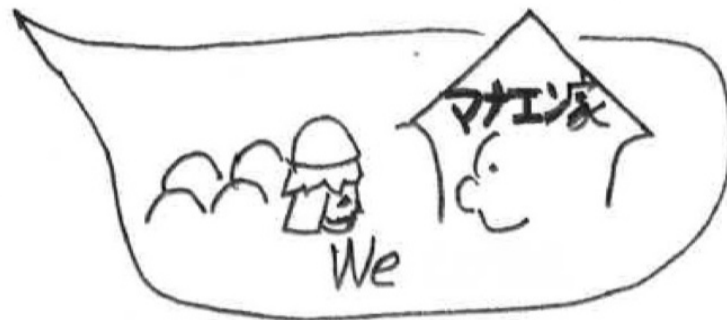
● トレマイ

カイザリヤ

ユタヤ



● エルサレム



## B . エルサレム教会の歓迎 ( 17 - 20 節a )

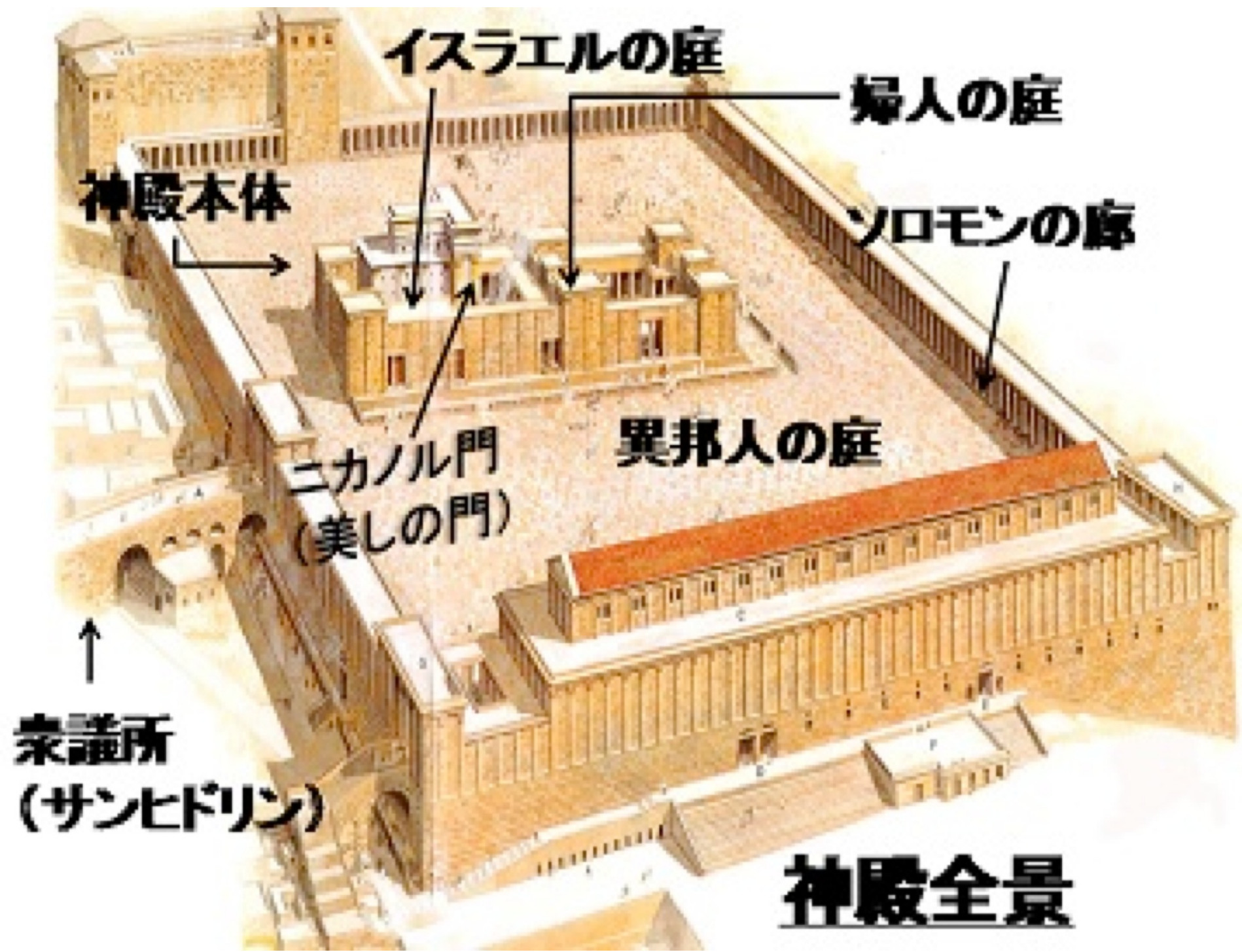
- ・ エルサレム信徒は、パウロたちを心から歓迎
- ・ 教会の柱ヤコブ及び全長老たちと会合
- ・ 伝道報告は讚美を生む : 伝道の結実の豊かさ故に ; 異邦人が貧しい人々を助ける故に (ガラテヤ2:10) ; 異邦人教会の祈りの故に (ローマ15:30-31)

## C. エルサレム教会の懸念(20節b - 25節)

- ・パウロに関する悪い噂：「パウロは、離散ユダヤ人に、割礼を施すな、律法を守るなど説いている！」
- ・パウロの立場： 異邦人クリスチャンは律法に囚われない； ユダヤ人クリスチャンが律法を守る気持ちは尊重される
- ・ヤコブの提案：誓願者のスポンサーとして仲間入りをすることで、パウロが律法を遵守していることを示す
- ・ヤコブの補足説明：エルサレム会議は、異邦人クリスチャンに律法遵守を押しつけないが、最低限度の道德規定の順守を求めた

## D . 誓願のための宮参りと騒動( 26 - 30 節)

- ・パウロと四人の仲間の宮参り
- ・アジヤのユダヤ人の扇動：「パウロは異邦人を神殿の内庭に連れ込んでいる！」(エルサレムの神殿参照)
- ・騒動の発生



イスラエルの庭

婦人の庭

神殿本体

ソロモンの廊

異邦人の庭

ニカノル門  
(美しの門)

衆議所  
(サンヒドリン)

神殿全景

## おわりに

- ・ 人に受け入れられるのは、格別な恵みである。  
感謝しよう！
- ・ 人を受け入れる恵みに富むものとなるろう！